

## かやぶん博物館研修旅行 新潟編

### ～～十日町市博物館を訪ねて～～

今回私は研修旅行に参加し十日町市博物館を訪れた帰り、行く前に想像していた以上に楽しみ、感動していました。



国宝指定番号1

旅の見所でもありました国宝、笹山遺跡出土の火焰型土器を始めとする様々な出土品やそれぞれの時代を象徴するような場面が再現された豊富なジオラマ、展示品があり、

それらを見てまわりながら館長さんに色々と言明をしていただきました。

その中でも私は、縄文時代に定住生活へと暮らしの形が変化したことで、三世代での生活が可能になり、その結果それまで以上に智恵や技術が伝承されるようになった。というお話を聞いた時、

とても興味深く、また縄文時代の人々を身近に感じることができ、感動したこ



とが今でも忘れられません。

その土地土地で逞しく暮らしてきた古から脈々と続く人々の暮らしや智恵、文化や芸術に触れたり、思いを馳せたり、とても豊かな時間を過ごすことができました。(横森裕子)

### ～～「なじょもん」を訪ねて～～

なじょもんってなあに？これが、バスツアーの計画を聞いた時の第1印象でした。新潟県津南町

にある農と縄文の体験実習館がその名前です。津南の方言「なじょもん」(ぜひ ○○してください)と縄文を組み合わせたネーミングということですが、親しみやすい名前ですね。施設の名前は人を引き付けるとっても大切な要素ではないかなと思います。

つくろう！ ふれよう！ もっと知ろう！のキャッチフレーズのもと、縄文ムラや雑穀畑・カラムシ畑、自然学習の森などを利用した多くのプログラムが実施されています。見学時には木の皮を使ったペンダントづくりが行われていました、興味を持ったのは「畑」。木札に記された名前から色々な雑穀が栽培されている様子が見て取れ、収穫期を過ぎていたのが残念でした。



竪穴住居を復元した縄文ムラも興味津々で見回りしました。湿気が多いか

な？ 実際に使っていたらもっと快適かな？ ちょっと狭いけどどういふ風に生活していたんだろう等々、想像するのは楽しいものでした。ムラを利用したプログラムも体験してみたいものの一つだと感じました。

運営は町と友の会が協働しているようです。畑の管理・イベントの企画運営など多くの人手が必要でしょう。ボランティアとしてかかわるとしたら、楽しみながら活動できるといいなと思います。お土産に買ったカラムシを使った「アンギン織」のブックカバー、使い込むうちに手になじんできました。縄文人の美意識と生活の知恵を今の時代に活かせたら、自然に優しい生活ができるのかなと、便利さに慣らされた自身の暮らしを見直すきっかけともなった見学会でした。(柴山裕子)

## ＝ノルダステーロの思い出第2弾＝

今年度の八代家住宅活用事業として、去る平成27年6月27日（土）に前回好評だったことを受けてノルダステーロの思い出の第2弾を開催いたしました。



今回も、ノルダステーロ合唱団の元団員の皆様に集まっていただきました。さらに、当時八代英蔵先生が先駆けとして活躍されていたというエスペラント語について、山梨エスペラント協会の方々にお願いをして、簡単なエスペラント語講座を開いていただきました。締めくくり「ふるさと」をエスペラント語にして参加者全員で合唱しました。



方々にお願いをして、簡単なエスペラント語講座を開いていただきました。締めくくり「ふるさと」をエ

スペラント語にして参加者全員で合唱しました。

ゲストとして明野町在住のアルパ奏者「LOS AKEÑOS（ロス・アケーニョス）」のお二人がギターとアルパで二重奏を演奏しました。

アルパとは小形のハープのことで、ラテンアメリカの民族楽器ですが、南米の民族音楽のみならず、最近の日本のポピュラーソング等も選曲されています。



しっとりとした音色が八代家の雰囲気ぴったりでした。

## ＝第6回伝統芸能研修会開催＝

### 今回の講師は内海元学芸員

去る平成27年11月1日（日）に、明野町民俗芸能保存会による、第6回伝統芸能研修会「明野のお神楽」を開催しました。

昨年度より三之蔵神社神楽団が加わって、今年度も総勢7団体での開催になりました。



今年は「御幣の舞」と「天宇受売命の舞」の二つの舞に関して、神社ごとの舞の違いをより分かり易くする為に、2団

体に続けて舞ってもらいました。

さらに、当法人の元学芸員、内海美佳さんを講師にお招きして、前出の二つの舞の中に登場する神様が、共に「天の岩戸」神話に登場する神様であることから、『今改めて読む 天の岩戸』と題して勉強会を開催しました。お越し下さった皆さん、ありがとうございました。



## ＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動してくださる方、ご賛同いただける方を募集しています。

### こんなことをやってみたい人は、ぜひ！

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金 1,000 円

年会費 2,000 円

### かやぶんかわら版 第79号

平成28年3月25日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所  
(かやぶん)

TEL/FAX 0551-45-7672

ウェブサイト <http://kayabun.web.fc2.com/>

e-mail [kayabun@hotmail.co.jp](mailto:kayabun@hotmail.co.jp)